

短 報

日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望：
設置母体と高齢化率による比較

Public Library Services for the Aged in Japan:
A National Survey

風 間 智 子
Tomoko Kazama

Résumé

The purpose of this paper is to overview the current situation of public library services for the aged in Japan. A questionnaire survey was carried out from October 24, 1997 to November 21, 1997. A sample was drawn from each of the following four groups: libraries 1) in cities and wards with high aging rate (Group I), 2) in towns and villages with high aging rate (Group II), 3) in cities and wards with low aging rate (Group III), 4) in towns and villages with low aging rate (Group IV). Additionally, public libraries which were known to provide with services for the aged were also surveyed as a group (Group V). The questionnaire consists of six sections; (A) resources, (B) facilities, (C) inhouse services, (D) outreach, (E) participation of the aged in library programs, (F) problems and prospects. It was found that there were differences in the services provided for the aged between the libraries in the area with high aging rate and ones in the area with low aging rate. On the other, there were few differences between the libraries in cities/wards and ones in towns/villages.

- I. はじめに
- II. 調査の概要
 - A. 調査対象
 - B. 調査項目
- III. 調査結果
 - A. 資料
 - B. 図書館の設備
 - C. 図書館内で行われているサービス
 - D. 図書館外で行われているサービス
 - E. サービスの運営と高齢者の関わり
 - F. 高齢者サービスの問題点
 - G. まとめ
- IV. おわりに

風間智子：図書館情報大学図書館情報学部，茨城県つくば市春日1-2

Tomoko Kazama: University of Library and Information Science, Kasuga 1-2, Tsukuba-shi, Ibaraki-ken.

受付日：1998年5月16日 改訂稿受付日：1998年7月18日 受理日：1998年7月27日

I. はじめに

日本の人口の年齢分布において高齢者層が増加しつつあるが、それにもなつて公共図書館の利用者も高齢者層の割合がますます増えてくると予想される。その一方で、健全な成年の利用者と比べて、高齢者には図書館を利用する上で特別な配慮を必要とする場合も少なくない。しかし、同じように特別な配慮を必要とする障害者や児童に比べても、高齢者に対する図書館サービスの重要性はまだ十分に認識されていないように思われる。

実際、日本の公共図書館における高齢者サービスに関する本格的な調査もあまり行われていない。比較的最近のものとしては、大橋と小川によって1987年に実施された調査がある¹⁾²⁾。これは、尼崎市内の6カ所の学習施設と5カ所の休養施設で60歳以上の男女674名に質問紙調査を行い、同時に、尼崎市立図書館2館および近畿地区の府県立図書館7館と市立図書館63館を対象として高齢者への対応の実態と将来展望について調査したものである。

高島は、アメリカ図書館協会の「高齢者への図書館サービスのためのガイドライン」(1975年発表、1987年改定)やアメリカの公共図書館における高齢者へのサービスの実態などを検討・紹介する³⁾とともに、福井県三方町立図書館などいくつかの日本の公共図書館における高齢者サービスの実態を調査し、高齢者サービスの現状と展望について分析を行っている⁴⁾⁵⁾。

また、1986年には、『みんなの図書館』に「高齢者と図書館」という特集が生まれ、公共図書館員、朗読ボランティア、利用者などによる実態報告や提言などが寄せられている⁶⁾。その他にも、こうした実態報告や提言などをいくつか見ることができる。

これらの調査や実態報告から、高齢者サービスは公共図書館の独立したサービスとしてまだ十分に確立されていないが、積極的に取り組もうとしている公共図書館も徐々に出てきていることがわかる。本研究では、こうした高齢者サービスに対する取り組みの姿勢が、公共図書館の設置母体

(市・区と町・村)およびサービス対象住民の高齢化率の高低によって異なるかどうかを調査した。

II. 調査の概要

調査は、郵送による質問紙法を用いて行った。

A. 調査対象

調査対象となる公共図書館は、『図書館年鑑1997』(日本図書館協会)中の「III 図書館名簿'96 公共図書館」に収録されている機関のうち、以下の条件を満たすものとした。

まず、市・区立図書館と町・村立図書館で高齢者サービスに対する取り組みの姿勢に差があるかどうかを調査することが目的のひとつであるので、市区町村立のいずれであるかが名称から判別できるものに限定した。すなわち、

- ア) 機関名に「市立」「区立」「町立」「村立」「市」「区」「町」「村」「市民」「区民」「町民」「村民」のいずれかが含まれている
- イ) 機関名に「市、区、町、村」を表す地名が含まれている(「島原図書館」「青ヶ島図書館」など)
- ウ) 「市、区、町、村」を表す地名が補記されている(「[高宮町]田園パラッツォ図書館」など)

のいずれかに該当するものである。

さらに、独立した図書館としての機能を備えていると考えられるものに限定した。そのために、

- エ) 機関名に「図書館」という語が含まれていない
- オ) 分室、分館、文庫、児童図書館、図書室、移動図書館、自動車図書館、という名称をもつ

のいずれかに該当するものを除外した。これは、「ふるさと情報館」「公民館図書室」などのように、図書館としての機能がどの程度独立しているのか、名称からは判別しがたい機関を除くためである。

次に、サービス対象住民の高齢化率が高い地域の公共図書館と低い地域の公共図書館とで、高齢

者サービスに対する取り組みの姿勢に差があるかどうかを調べることがもうひとつの目的であるから、『平成7年版老人保険福祉マップ数値表』（長寿社会開発センター発行）を用いて、

- ① 高齢化率の高い市・区
- ② 高齢化率の高い町・村
- ③ 高齢化率の低い市・区
- ④ 高齢化率の低い町・村

を定め、それぞれの地域の公共図書館を調査対象とした。その際、①～④の各地域に含まれる公共図書館の数が約100館になるようにした。

まず、高齢化率20%以上の市・区には97館の公共図書館（上記のA～Cを満たすもの；以下同様）が存在するので、これを「高齢化率の高い市・区の公共図書館」とした。また、高齢化率25%以上の町・村には104館存在するので、これを「高齢化率の高い町・村の公共図書館」とした。

次に、高齢化率10%未満の市・区には160館存在するが、これ以上高齢化率を下げることはしないで、160館の中から80館を抽出して、これを「高齢化率の低い市・区の公共図書館」とした。最後に、高齢化率12%未満の町・村には69館存在する。これを13%未満に引き上げると100館を大きく越えてしまうので、この69館を「高齢化率の低い町・村の公共図書館」とした。

さらに、本研究では、第5のグループとして、『図書館雑誌』の「図書館関係雑誌記事索引」と「新聞切抜帳」、および『雑誌記事索引』によって検索した論文または雑誌記事において高齢者サービスの実施例が報告されている公共図書館を加えた。ただし、このグループはサンプルが小さいので、統計的な有効性は低い。したがって、結果は参考として提示するにとどめる。

以上の5つのグループを、以下ではグループI～グループVとよぶことにする。すなわち、

- グループI：高齢化率の高い市・区立図書館
- グループII：高齢化率の高い町・村立図書館
- グループIII：高齢化率の低い市・区立図書館
- グループIV：高齢化率の低い町・村立図書館
- グループV：サービス実施報告がある図書館

である。

1997年10月24日に発送し、11月21日を回答期限としたが、12月16日までに回答のあったものを有効回答とした。発送数と回答数（回答率）は以下の通りである。

- グループI：発送97館、回答74館(76.3%)
- グループII：発送104館、回答75館(72.1%)
- グループIII：発送80館、回答65館(81.3%)
- グループIV：発送69館、回答50館(72.5%)
- グループV：発送24館、回答19館(79.2%)

なお、ひとつの自治体中の図書館は同じ方針に基づいてサービスを行っている可能性もあるが、館によって独自性を出しているサービスも考えられるので、「図書館名簿」の「図書館名」欄に記載されている各館を調査対象の1単位として扱い、それぞれに調査票を送った。

B. 調査項目

調査項目は、以下の6つの部分からなる（詳しくは付録の質問票を参照のこと）。

(A) 資料

高齢者向けの資料コーナーなどのように、明確に高齢者を意識した資料サービスを行っているか尋ねた。また、カセットテープ・CDや美術書の貸出という高齢者に限定されないサービスに関する質問も行った。これは、高齢者は本（書籍）を読まない割合が平均よりも高いという調査結果⁷⁾や、「読書の習慣を持たない高齢者には視聴覚資料、写真集、カセットブック、絵本などを提供できる」⁵⁾という指摘などから、図書以外の形態の資料がどれだけ利用できるかを把握する必要があると考えたからである。

(B) 図書館の設備

高齢者は健全な成年に比べて、視力や体力が低下している場合が多い。この点を補うための、施設・設備面での配慮がなされているかどうかを尋ねた。

(C) 図書館内で行われるサービス

高齢者向けの利用案内の作成や利用ガイダンスの開催、高齢者向けの講演会などの企画の実施、図書館利用のPRなど、図書館に来館する高齢者

に対して図書館利用を促すサービスを行っているか尋ねた。

(D) 図書館外で行われるサービス

上記のようなサービスを図書館内で行っていても、身体的・距離的な理由で、図書館ないしはサービスポイントに行くことが困難な高齢者も存在する。実際、図書館利用者の割合は高齢者ほど低くなっている⁸⁾。こうした来館が困難な高齢者に対する、在宅あるいは高齢者施設へのサービスに関して尋ねた。

(E) サービスの運営と高齢者の関わり

高齢者に対するサービスを積極的に行うには、図書館サービスに対する高齢者自身の見方・考え方を取り入れることが必要と思われる。この観点から、高齢者向けのイベントの運営に高齢者が参加しているかどうか、また、図書館業務における高齢者の雇用とその業務内容に関して尋ねた。

(F) 高齢者サービスの展望

高齢者サービスを行う上での問題点、将来への展望などについて尋ねた。

III. 調査結果

A. 資料

1. 大活字本の館外貸出

大活字本の館外貸出を行っているかという質問に対して、グループII以外のいずれのグループにおいても「行っている」という回答が85%を超えていた(第1表)。グループII(高齢化率の高い町・村立図書館)では62%にとどまっている。このグループは、そもそも大活字本を「購入していない」という回答が32%あり、購入しても「館内利用のみ」が5.3%で、ほかのグループに比べて大活字本の扱いに違いが見られる。

第1表 大活字本の貸出

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
行っている	86.5	62.7	90.8	96.0	89.5
館内利用のみ	0.0	5.3	1.5	0.0	0.0

第1表 つづき

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
購入していない	13.5	32.0	7.7	4.0	10.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%)

2. カセットテープ・CDの館外貸出

カセットテープ・CDの館外貸出に関しては、「行っている」という回答が、グループIIIとIV(高齢化率の低い市・区立および町・村立図書館)で70%を超えているが、グループIとIIでは低い値となっている(第2表)。

第2表 カセットテープ・CDの貸出

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
行っている	51.4	37.3	70.8	82.2	63.2
館内利用のみ	15.3	12.0	6.2	8.0	21.1
購入していない	33.8	50.7	23.1	10.0	15.8
無回答	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%)

3. 美術書・写真集の館外貸出

美術書・写真集の館外貸出に関しては、「行っている」という回答が、グループIIでも80%近く、グループIIIでは100%であった(第3表)。全体的に館外貸出はよく行われているといえるが、グループIとII(高齢化率の高い市・区立および町・村立図書館)と、グループIIIとIV(高齢化率の低い市・区立および町・村立図書館)の間に差が見られる。

第3表 美術館や写真集の貸出

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
行っている	86.5	78.7	100.0	94.0	63.2
館内利用のみ	10.8	16.0	0.0	4.0	21.1

第3表 つづき

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
購入していない	2.7	2.7	0.0	0.0	15.8
無回答	0.0	2.6	0.0	2.0	0.0

数値は百分率(%)

4. 高齢者向けの資料コーナーの設置

熟年コーナー、高齢者コーナーなど高齢者向けの資料コーナーを設置しているかという質問に対しては、大部分が「いいえ」という回答であった(第4表)。最も値の高いグループIVでも設置しているのは12%であり、グループ間に大きな差は見られない。

第4表 高齢者向け資料コーナーの設置

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	9.5	5.3	4.6	12.0	10.5
いいえ	90.5	94.7	95.4	88.0	89.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%)

5. 高齢者を意識した資料の収集

高齢者を意識して資料を収集しているかという質問に対しては、「意識して収集している」という回答の割合が、グループIとIIで高く、グループIIIとIVで低くなっている(第5表)。意識的に収集している資料の種類としては、いずれのグループにおいても、「高齢者問題、高齢者福祉、高齢者の生き方などに関する資料」が最も高い割合となっている。

第5表 高齢者を意識した資料の収集

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
意識的に収集している	70.3	74.4	50.7	32.0	57.9
・高齢者問題等	94.2	85.7	78.8	86.7	100.0

第5表 つづき

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
・歴史小説	84.6	78.5	72.7	80.0	90.9
・趣味	63.5	64.3	63.6	76.7	81.8
・その他	15.4	5.4	12.1	6.7	18.1
意識していない	29.7	24.3	46.2	36.0	36.8
無回答	0.0	1.3	3.1	4.0	5.3

数値は百分率(%) (M. A.)

6. 地域の高齢者のためのサークルを意識した資料の収集

地域の高齢者のためのサークル(老人クラブなど)を意識して資料の充実を図っているかという質問に対しては、「いいえ」という回答がかなり高い割合となっている(第6表)。特に、グループIII(高齢化率の低い市・区立図書館)では、97%が「いいえ」と回答している。全般的に見ると、高齢化率の高い地域の図書館(グループIとII)の方が、高齢化率の低い地域の図書館(グループIIIとIV)よりも、意識的に資料の充実を図っているといえる。

第6表 地域の高齢者のためのサークルを意識した資料の収集

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	14.9	17.3	3.1	14.0	26.3
いいえ	82.4	78.3	96.9	86.0	73.7
無回答	3.7	4.4	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%)

B. 図書館の設備

1. 拡大読書器・拡大鏡・老眼鏡などの設置

拡大読書器・拡大鏡・老眼鏡などを置いているかという質問に対しては、グループIIを除いて、「置いている」という回答がかなりの割合を占めている(第7表)。特に、グループIIIでは97%となっている。全般的に見ると、市・区立図書館

日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望

(グループ I と III)の方が、町・村立図書館(グループ II と IV)よりも、これらの機器を置いている割合が高い。置いている機器の中では、「老眼鏡」が最も割合が高いが、グループ III では「拡大鏡」の方が割合が高くなっている。

第7表 拡大読書器, 拡大鏡, 老眼鏡などの設置

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
置いている	82.4	44.4	96.9	78.0	100.0
・拡大読書器	16.1	3.0	46.0	28.2	42.1
・拡大鏡	53.2	39.4	82.5	46.2	89.5
・老眼鏡	74.2	78.8	52.4	79.5	36.8
・その他	1.6	0.0	3.2	2.6	0.0
置いていない	16.2	56.0	3.1	22.0	0.0
無回答	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%) (M. A.)

2. 書架の高さ

書架の高さを、はしごや踏み台を使わなくても本を取ることができる高さになっているかという質問に対しては、「いいえ」が「はい」よりも少し多いという結果であった(第8表)。全般的に見ると、高齢化率の高い地域の図書館(グループ I と II)の方が、高齢化率の低い地域の図書館(グループ III と IV)よりも、高さの調整を行っていることがわかる。

第8表 書架の高さ

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	43.2	61.3	33.8	40.0	63.2
いいえ	56.8	38.7	66.2	58.0	36.8
無回答	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0

数値は百分率(%)

3. 館内案内板の字の大きさ

館内案内板の字を大きくしているかという質問に対しては、グループ IV 以外は、「はい」と「いいえ」がほぼ半数である(第9表)。グループ IV

では、「いいえ」が70%を占めている。

第9表 館内の案内板の字の大きさ

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	43.2	42.7	44.6	26.0	52.6
いいえ	52.7	54.7	55.4	70.0	42.1
無回答	4.1	2.6	0.0	4.0	5.3

数値は百分率(%)

4. 自動ドア・スロープ・エレベータなどの設置

自動ドア・スロープ・エレベータなどに関しては、「設置している」という回答が、最も割合の低いグループ II でも70%以上となっている(第10表)。最も設置率の高いのは自動ドアであるが、エレベータも、グループ I を除いて、50%を超えている。

第10表 自動ドア, スロープ, エレベータなどの設置

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
設置している	83.8	70.7	98.5	90.0	100.0
・自動ドア	79.0	73.6	87.5	88.9	94.7
・スロープ	64.5	73.6	53.1	66.7	57.9
・エレベータ	33.9	50.9	65.6	55.6	63.2
・その他	3.2	5.7	10.9	11.1	21.1
設置していない	16.2	29.3	1.5	10.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%) (M. A.)

5. 館内の照明

館内の照明の改善, ルックス基準のアップを計っているかという質問に対しては, 30%~50%が「はい」と回答している(第11表)。あまり大きな差は見られないが, 町・村立図書館(グループ II と IV)の方が, 市・区立図書館(グループ I と III)よりもいくらか高い割合となっている。

第11表 館内の照明

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	31.1	46.7	38.5	42.0	57.9
いいえ	67.6	52.0	61.5	58.0	36.8
無回答	1.3	1.3	0.0	0.0	5.3

数値は百分率(%)

6. 高齢者向け読書施設の設置

高齢者用読書室、読書コーナーのような高齢者のための特別な読書施設を用意しているかという質問に対しては、いずれのグループも、ほとんどが「いいえ」という回答であった(第12表)。

第12表 高齢者向け読書施設の設置

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	0.0	4.0	0.0	2.0	15.8
いいえ	100.0	94.7	100.0	98.0	84.2
無回答	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%)

C. 図書館内で行われているサービス

1. 館内における高齢者向けの企画

高齢者向けの企画を図書館内で行っているかという質問に対して、「行っている」という回答は20%前後である(第13表)。企画の種類としては、「読書会」が、高齢化率の高い地域の図書館(グループIとII)で割合が高く、高齢化率の低い地域の図書館(グループIIIとIV)で低い割合となっている。そのほか、グループによって違いがあるが、「講演会」と「映画上映会」が比較的多くの図書館で行われている。

第13表 館内における高齢者向けの企画

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
行っている	29.7	17.3	12.3	18.0	26.3
・読書会	40.9	53.8	12.5	11.1	80.0
・講演会	27.3	30.8	25.0	44.4	40.0

第13表 つづき

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
・映画上映会	9.1	30.8	25.0	44.4	60.0
・利用者懇談会	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・コンサート	4.5	7.7	0.0	11.1	40.0
・展覧会	9.1	15.4	0.0	0.0	0.0
・サークル	9.1	23.1	12.3	0.0	20.0
・お話し会	4.5	15.4	0.0	33.3	20.0
・その他	27.3	7.7	12.3	22.2	40.0
行っていない	66.2	82.7	86.2	80.0	73.7
無回答	4.1	0.0	1.5	2.0	0.0

数値は百分率(%) (M. A.)

2. 来館用のバッグの貸与・提供

来館用のバッグを高齢者に貸与・提供しているかという質問に対しては、「はい」という回答が、グループIVで比較的高い値(34%)を示しているが、そのほかのグループでは1割程度である(第14表)。なお、この間において「はい」と回答した図書館の中には、高齢者に限定せずすべての利用者にバッグを貸与・提供しているものも含まれている。

第14表 来館用のバッグの貸与・提供

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	14.9	9.3	9.2	34.0	0.0
いいえ	81.1	89.3	90.8	66.0	100.0
無回答	4.0	1.4	0.0	0.0	0.0

数値は百分率(%)

3. 高齢者向けの利用案内の作成

高齢者向けの利用案内に関しては、「作成している」という回答が、いずれのグループにおいても1割程度である(第15表)。

日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望

第15表 高齢者向け利用案内の作成

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
作成している	8.1	8.0	6.2	12.0	11.0
・大きい文字で	4.1	6.7	0.0	10.0	10.5
・難解語を避ける	4.1	0.0	4.7	8.0	5.3
・その他	1.4	0.0	1.5	0.0	0.0
作成していない	89.2	92.0	93.8	88.0	89.0
無回答	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率 (%) (M. A.)

4. 高齢者向けの目録の作成

高齢者向けの目録を作成しているかという質問に対しては、いずれのグループも、「はい」という回答がほとんどなかった(第16表)。「はい」と回答した図書館に、工夫している点を記述式で尋ねたところ、「大活字本の目録を作成している」「大活字本の目録を大きい字で印刷する、あるいは手書きで作成する」という回答があった。

第16表 高齢者向けの目録の作成

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	0.0	0.0	3.1	2.0	10.5
いいえ	98.6	98.7	96.9	98.0	89.5
無回答	1.4	1.3	0.0	0.0	0.0

数値は百分率 (%)

5. 集会室・会議室を利用する高齢者へのPR

集会室・会議室を利用する高齢者に図書館のPRをしているかという質問に対して、「はい」という回答は20%前後であった(第17表)。「いいえ」と回答した図書館に、その理由を記述式で尋ねたところ、「集会室・会議室がない」という回答がすべてのグループにおいて大半を占めていた。「集会室・会議室がない」という回答は、「その他」においても多く見られた。この結果は、「集会室・会議室がない」という選択肢を設けなかったこと

に問題があったと思われる。その他の理由として、「高齢者を特別扱いない」「集会室・会議室の利用者は常連なのでPRの必要がない」「高齢者はあまり利用しない」「集会室・会議室は図書館以外の施設で管理している」「集会室・会議室の一般利用を認めていない」という回答があった。

第17表 集会室、会議室を利用する高齢者へのPR

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	21.6	26.7	10.8	20.0	26.3
いいえ	67.6	69.3	66.2	66.0	73.7
その他	9.5	4.0	20.0	10.0	0.0
無回答	1.3	0.0	3.0	4.0	0.0

数値は百分率 (%)

6. 高齢者を対象とした利用ガイダンス

図書館において高齢者を対象とした利用ガイダンスを開催しているかという質問に対しては、「開催している」という回答は1割程度であった(第18表)。グループIIIではほとんど開催されていない。「その他」の開催方法として、「利用登録時に説明」「高齢者を対象とした教育等のカリキュラムのひとつにガイダンスを加えてもらうように依頼している」「シルバーカレッジの図書館見学を年1回開催」があげられていた(いずれもグループV)。

第18表 高齢者を対象とした利用ガイダンス

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
開催している	13.5	12.0	1.5	10.0	26.3
・定期的に開催	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・依頼時に開催	13.5	12.0	1.5	10.0	15.8
・その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
開催していない	85.1	88.0	98.0	90.0	73.7
無回答	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率 (%) (M. A.)

7. 利用ガイダンスの内容

前項でみたように、高齢者に対する利用ガイダンスの実施率は、すべてのグループにおいて低かった。したがって、統計的に有効とはいえないが、参考までに利用ガイダンスの内容に関する回答結果を第19表に示す(数値は百分率ではなく実数)。

第19表 利用ガイダンスの内容

	グループ I (n=10)	グループ II (n=9)	グループ III (n=1)	グループ IV (n=5)	グループ V (n=5)
利用全般	10	8	1	5	5
利用登録	8	5	1	2	4
貸出, 返却	8	8	1	4	4
リクエスト	7	7	1	4	3
目録カード	1	0	0	0	0
OPAC	3	1	0	1	1
集会室, 会議室	5	1	0	1	2
その他	0	0	0	1	1

数値は館数(M. A.)

D. 図書館外で行われているサービス

1. 高齢者施設への資料の貸出

高齢者施設への資料の貸出を行っているかという質問に対しては、「はい」という回答が、高齢化率の高い地域の図書館(グループIとII)で割合が高く、高齢化率の低い地域の図書館(グループIIIとIV)で低い割合となっている(第20表)。特に、グループIII(高齢化率の低い市・区立図書館)はかなり低い割合である。

第20表 高齢者施設への資料の貸出

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
はい	43.2	50.7	16.9	34.0	47.4
いいえ	56.8	49.0	80.0	66.0	52.6
無回答	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0

数値は百分率(%)

2. 貸出先の施設

前項で貸出を行っているという回答した図書館に対して、貸出先の高齢者施設を尋ねたところ、老人ホームが6割以上を占めていた(第21表)。「その他」には、デイサービスセンター、老人福祉センター、社会福祉センター、社会福祉協議会、盲老人ホーム、地区区民館があげられた。

第21表 貸出先の施設

	グループ I (n=32)	グループ II (n=38)	グループ III (n=11)	グループ IV (n=17)	グループ V (n=9)
老人ホーム	84.3	63.2	72.7	76.5	55.6
病院	15.6	7.9	27.3	5.9	22.2
その他	18.8	76.3	27.3	23.5	33.3

数値は百分率(%) (M. A.)

3. 施設への貸出形態

貸出を行っている図書館にその貸出形態を尋ねたところ、大部分の図書館で団体貸出を行っているが、個人貸出を行っている図書館はグループII(高齢化率の高い町・村立図書館)以外では割合が低い(第22表)。

第22表 施設への貸出形態

	グループ I (n=32)	グループ II (n=38)	グループ III (n=11)	グループ IV (n=17)	グループ V (n=9)
団体貸出	90.6	71.1	90.9	82.4	66.7
個人貸出	28.1	60.5	36.4	17.6	55.6
その他	6.3	2.6	0.0	17.6	11.1

数値は百分率(%) (M. A.)

4. 施設への貸出資料

貸出を行っている図書館にその資料の種類を尋ねたところ、ほとんどすべての図書館で図書(雑誌)の貸出を行っているが、その他、雑誌や写真集・画集なども多くの図書館で貸出を行っていた(第23表)。しかし、CDやカセットテープの貸出はあまり行われていない。

日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望

第 23 表 施設への貸出資料

	グループ I (n=32)	グループ II (n=38)	グループ III (n=11)	グループ IV (n=17)	グループ V (n=9)
図書	93.8	100.0	100.0	100.0	100.0
雑誌	56.3	50.0	72.7	76.5	66.7
CD, CT	25.0	23.7	36.4	47.1	33.3
写真集, 画 集	43.8	57.9	81.8	70.6	77.8
その他	15.6	2.6	11.8	11.8	11.1

数値は百分率 (%) (M. A.)

5. 高齢者施設における貸出以外のサービス

高齢者施設において貸出以外のサービスを行っているか尋ねたところ、「行っていない」という回答が9割前後であった(第24表)。特に、資料の貸出の場合と同様、グループ III (高齢化率の低い市・区立図書館) は、ほとんどの図書館が行っていない。

第 24 表 高齢者施設における貸出以外のサービス

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
行っている	12.0	12.0	1.6	16.0	5.3
・お話し会	40.0	66.7	0.0	50.0	100.0
・紙芝居	40.0	33.3	0.0	25.0	0.0
・映画上映会	10.0	11.1	0.0	12.5	0.0
・その他	10.0	44.4	100.0	50.0	0.0
行っていない	86.5	88.0	96.9	84.0	89.5
無回答	1.4	0.0	1.5	0.0	5.3

数値は百分率 (%) (M. A.)

6. サービスの担当者

前項のサービスはどのような職員が担当しているのかを尋ねたが、回答数が少ないので統計的有効性は全くない(第25表)。ただ、ボランティアが担当している場合が多いように推測される。

第 25 表 サービスの担当者

	グループ I (n=9)	グループ II (n=9)	グループ III (n=1)	グループ IV (n=8)	グループ V (n=1)
正職員	3	6	1	5	1
嘱託, 非常 勤職員	1	4	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0
ボランティア	7	6	0	6	1
その他	0	0	0	0	0

数値は館数 (%)

7. 個人宅への宅配サービス

個人宅への宅配サービスを行っているかという質問に対しては、「高齢者を対象に行っている」という回答は、いずれのグループもほとんどなかった(第26表)。ただし、「宅配サービスは行っているが、高齢者だけを対象にしていない」という回答が、高齢化率の低い地域の図書館(グループ III と IV) で比較的高い割合となっている。

第 26 表 個人宅への宅配サービス

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
高齢者対象	1.4	2.7	1.5	0.0	21.1
高齢者以外も対象	6.8	5.3	26.2	14.0	36.8
行っていない	86.5	82.7	60.0	74.0	26.3
その他	6.8	8.0	10.8	10.0	15.8
無回答	0.0	1.3	1.5	2.0	0.0

数値は百分率 (%) (M. A.)

8. 宅配サービスを担当している職員

前項の宅配サービスを行っている図書館に対してその担当職員を尋ねたが、回答数が少ないので統計的な有効性はない(第27表)。ただ、正職員が行っている図書館が比較的多いように推測される。

第27表 宅配サービスを担当している職員

	グループ I (n=11)	グループ II (n=12)	グループ III (n=8)	グループ IV (n=12)	グループ V (n=14)
正職員	54.5	58.3	72.5	75.0	85.7
嘱託, 非常勤職員	40.0	33.3	12.5	16.6	21.4
アルバイト	9.1	8.3	25.0	8.3	0.0
ボランティア	9.1	8.3	12.5	8.3	0.0
その他	18.2	25.0	12.5	8.3	7.1
無回答	0.0	0.0	12.5	8.3	7.1

数値は百分率 (%) (M. A.)

9. 自動車文庫によるサービス

自動車文庫（ブックモバイル）によるサービスに関して尋ねたところ、「行っている」という回答は、市・区立図書館（グループ I と III）の方が、町・村立図書館（グループ II と IV）よりも割合が高い（第28表）。

第28表 自動車文庫によるサービス

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
行っている	47.3	20.0	40.0	23.5	52.7
・月4回以上	2.9	0.0	7.4	6.7	10.0
・月2～3回	37.1	40.0	70.4	73.3	50.0
・月1回	45.7	60.0	4.6	20.0	40.0
・月1回未満	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0
行っていない	45.9	77.3	47.7	66.0	36.8
その他	6.8	0.0	10.8	4.0	10.5
無回答	0.0	2.7	1.5	0.0	0.0

数値は百分率 (%) (M. A.)

10. 館外の施設における高齢者へのPR

館外の施設で高齢者へのPRを行っているか尋ねたところ、「行っている」という回答はあまり多くなかった（第29表）。特に、高齢化率の低い地

域の図書館（グループ III と IV）では6%にとどまった。

第29表 館外の施設における高齢者へのPR

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
行っている	25.7	20.0	6.2	6.0	15.8
・老人ホームで	36.8	31.1	50.0	25.0	33.3
・病院で	10.5	0.0	25.0	0.0	0.0
・公民館で	68.4	37.5	75.0	75.0	33.3
・老人クラブで	5.3	25.0	75.0	50.0	0.0
・その他	5.3	25.0	0.0	25.0	66.7
行っていない	74.3	78.7	93.8	94.0	78.9
無回答	0.0	1.3	0.0	0.0	5.3

数値は百分率 (%) (M. A.)

11. PRの方法

PRを行っている図書館にその方法を尋ねたが、回答数が少ないので、統計的有効性は低い（第30表）。ただ、「広報を通じて行う」が最もよく利用される方法であると推測される。

第30表 PRの方法

	グループ I (n=19)	グループ II (n=15)	グループ III (n=4)	グループ IV (n=3)	グループ V (n=3)
直接赴く	15.8	18.8	25.0	25.0	0.0
案内などを配布	57.9	31.3	50.0	75.0	66.7
広報を通じて	68.4	62.5	75.0	100.0	33.3
その他	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

数値は百分率 (%) (M. A.)

12. 図書館以外の施設・団体との連携

図書館サービスを運営する上で、図書館以外の施設・団体と連携しているか尋ねたところ、「公民館との連携」という回答が最も割合が高かった（第31表）。「その他」の中には、学校、大学、郵

日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望

便局、農協、寺、役場支所、出張所、福祉図書室、朗読奉仕サークル、地域文庫などが含まれている。

第31表 図書館以外の施設、団体との連携

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
老人ホームと	12.2	12.0	6.2	6.0	21.1
病院と	5.4	4.0	3.1	0.0	5.3
公民館と	52.7	41.3	40.0	28.0	42.1
老人クラブなどと	2.7	6.6	0.0	8.0	5.3
老人大学と	2.7	5.3	1.5	0.0	10.5
将来連携を予定	16.2	13.3	6.2	6.0	10.5
連携の予定なし	9.5	20.0	18.5	26.0	5.3
その他	9.5	16.0	27.7	30.0	26.3
無回答	5.4	6.6	9.2	8.0	0.0

数値は百分率 (%) (M. A.)

E. サービスの運営と高齢者の関わり

1. 高齢者向け企画・プログラムへ的高齢者の参加

高齢者向けの企画・プログラムを図書館が行う場合、高齢者が参加しているか尋ねたところ、「参加していない」という回答が6割前後を占めていた(第32表)。「その他」には、「企画がない」という回答が多く含まれていた。それ以外に、「図書館協議会での審議の際に意見を聞いている」「子供たちと昔の遊びをする」などの回答があった。

第32表 高齢者向け企画、プログラムへ的高齢者の参加

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
アイディアで	5.4	1.3	1.5	2.0	5.3
準備で	2.7	0.0	1.5	0.0	5.3
運営で	2.7	4.0	1.5	0.0	10.5

第32表 つづき

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
その他	16.2	12.0	18.5	18.0	10.5
参加していない	62.2	76.0	56.9	68.0	36.8
無回答	18.9	8.0	18.5	12.0	15.8

数値は百分率 (%) (M. A.)

2. 図書館業務における高齢者の雇用

図書館業務に高齢者を雇用しているかという質問に対しては、「雇用していない」という回答が大部分であった(第33表)。「その他」には、本の修理、土日開館の対応、BMの手伝い、お話し会の担当、本館と分館との図書館集配業務などの回答が含まれている。また、警備員、駐車場管理、清掃業務など、図書館サービスと直接関係のない業務も含まれていた。

第33表 図書館業務における高齢者の雇用

	グループ I (n=74)	グループ II (n=75)	グループ III (n=65)	グループ IV (n=50)	グループ V (n=19)
貸出、返却担当	6.8	6.7	10.8	2.0	10.5
集会室の受付担当	0.0	0.0	3.1	0.0	5.3
宅配サービス担当	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.4	6.7	16.9	8.0	15.8
雇用していない	83.8	84.0	67.7	90.0	68.4
無回答	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0

数値は百分率 (%) (M. A.)

F. 高齢者サービスの問題点

高齢者サービスの障害となっている要因について尋ねたところ、「職員の数が不足」「予算が不足」という回答が多かった(第34表)。そのほか、「高齢者のニーズに関する認識不足」「図書館のPR不足」などの回答も多かった。なお、この質問は、選択肢から2つを回答するように求めたが、実際

には1つまたは3つ以上の回答もあったので、表の数値は百分率としないで、実数で示した。

第34表 高齢者サービス障害の要因

	グループ I	グループ II	グループ III	グループ IV	グループ V
職員が不足	48	48	29	33	15
予算が不足	43	28	25	19	12
図書館の関心不足	9	13	13	7	2
ニーズの認識不足	22	23	26	20	5
PR 不足	15	20	9	11	4
地域の協力不足	6	7	7	2	0
その他	9	5	7	3	1
無回答	0	3	3	1	0

数値は館数

G. ま と め

以上の結果をまとめると、高齢化率の高い地域と低い地域の図書館とで多くの項目に差が見られる点が、まず第一に注目される。

高齢化率の高い地域の図書館（グループ I と II）の方が高齢化率の低い地域の図書館（グループ III と IV）よりも、行っている割合が高いサービスには以下のものがある（A5 は本章 A 節第5項で説明した項目を意味する；以下同様）。いずれも、高齢者あるいは高齢者のサークルや施設に直接関わるサービスである。

- A 5: 高齢者を意識した資料の収集（第5表）
- A 6: 地域の高齢者のためのサークルを意識した資料の収集（第6表）
- B 2: 書架の高さの調整（第8表）
- D 1: 高齢者施設への資料の貸出（第20表）
- D10: 館外の施設における高齢者への PR（第29表）

一方、高齢化率の低い地域の図書館の方が高齢化率の高い地域の図書館よりも、行っている割合が高いサービスには以下のものがある。

- A 2: カセットテープ・CD の館外貸出（第2

表）

A 3: 美術書・写真集の館外貸出（第3表）
ただし、これらは高齢者だけを対象としたサービスではない。

次に、市・区立図書館と町・村立図書館の間にもいくつかの相違点が見られる。市・区立図書館（グループ I と III）の方が町・村立図書館（グループ II と IV）よりも、行っている割合が高いサービスには以下のものがある。

- B 1: 拡大読書器・拡大鏡・老眼鏡などの設置（第7表）

- D 9: 自動車文庫によるサービス（第28表）

一方、町・村立図書館の方が市・区立図書館よりも、行っている割合が高いサービスには以下のものがある。ただし、あまり大きな差ではない。

- B 5: 館内の照明の改善（第11表）

次に、特定のグループだけに特徴的な項目を見てみよう。

まず、グループ II（高齢化率の高い町・村立図書館）がほかのグループよりも、高い割合で行っているサービスには以下のものがある。

- D 3: 高齢者施設への個人貸出（第22表）

一方、グループ II がほかのグループよりも、行っている割合が低いサービスには以下のものがある。B1 は、先ほど見たように、町・村立図書館（グループ II と IV）の方が市・区立図書館（グループ I と III）よりも、行っている割合が低いサービスであるが、グループ II で特に低い値となっている。

- A 1: 大活字本の館外貸出（第1表）

- B 1: 拡大読書器・拡大鏡・老眼鏡などの設置（第7表）

- B 4: 自動ドア・スロープ・エレベータなどの設置（第10表）

グループ III（高齢化率の低い市・区立図書館）については、以下のサービスにおいて、ほかのグループよりも低い割合となっている。D1 は、先ほど見たように、高齢化率の低い地域の図書館（グループ III と IV）の方が高齢化率の高い地域の図書館（グループ I と II）よりも、行っている割合が低いサービスであるが、グループ III にお

いて特に低い値となっている。

C 6: 高齢者を対象とした利用ガイダンス (第 18 表)

D 1: 高齢者施設への資料の貸出 (第 20 表)

D 5: 高齢者施設における貸出以外のサービス (第 24 表)

最後に、グループ IV (高齢化率の低い町・村立図書館) については、以下のサービスにおいて、ほかのグループよりも高い割合となっている。

B 3: 館内案内板の字の大きさ (第 9 表)

C 2: 来館用のバッグの貸与・提供 (第 14 表)

IV. おわりに

前章 G 節で見たように、「A5: 高齢者を意識した資料の収集」「A6: 地域の高齢者のためのサークルを意識した資料の収集」「B2: 書架の高さの調整」「D1: 高齢者施設への資料の貸出」「D10: 館外の施設における高齢者への PR」といったサービスは、高齢化率の高い地域の図書館 (グループ I と II) の方が高齢化率の低い地域の図書館 (グループ III と IV) よりも、行っている割合が高い。

また、グループ II (高齢化率の高い町・村立図書館) は、「D3: 高齢者施設への個人貸出」を、ほかのグループよりも高い割合で行っている。

さらに、グループ III (高齢化率の低い市・区立図書館) は、「C6: 高齢者を対象とした利用ガイダンス」「D1: 高齢者施設への資料の貸出」「D5: 高齢者施設における貸出以外のサービス」といったサービスを行っている割合が、ほかのグループよりも低い。

こうした結果から、高齢化率の高い地域の図書

館と低い地域の図書館とでは、高齢者サービスへの取り組み方に相違があると考えられる (もちろん、これは一般的な結果であって、個々の図書館についての議論ではない)。

一方、市・区立図書館と町・村立図書館との間にも、「B1: 拡大読書器・拡大鏡・老眼鏡などの設置」「D9: 自動車文庫によるサービス」などで相違が見られたが、全般的に設置母体による差は少ないと考えられる。

本稿は、図書館情報大学図書館情報学部の 1997 年度卒業研究 (指導教官: 緑川信之助教授) として行った調査の結果をまとめたものである。貴重なお時間を割いて質問に回答して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

引用文献

- 1) 大橋一二, 小川富美子. “高齢化社会における余暇と読書の関係: 尼崎市における実態調査をもとに”. 園田学園女子大学論文集. No. 22, p. 157-171 (1988)
- 2) 大橋一二. “高齢者と図書館”. 図書館界. Vol. 40, No. 5, p. 228-235 (1989)
- 3) 高島涼子. “高齢化社会における図書館の役割”. 現代の図書館. Vol. 30, No. 1, p. 59-70 (1992)
- 4) 高島涼子. “高齢者への図書館サービス”. 図書館界. Vol. 45, No. 1, p. 73-78 (1993)
- 5) 高島涼子. “XI 公共施設は高齢者にどんなサービスを提供できるか: 図書館での実践例や図書館のあり方から”. 高齢化社会への意識改革: 老年学入門. 関口礼子編. 東京, 勁草書房, 1996. p. 210-228.
- 6) “特集・高齢者と図書館”. みんなの図書館. No. 112, p. 2-41 (1986)
- 7) 月刊世論調査. Vol. 21, No. 11 (1989)
- 8) 田村俊作, 上田修一. “公共図書館の利用者像”. Library and Information Science. No. 18, p. 123-140 (1980)

付 録

★★公共図書館の高齢者サービスについての調査★★
アンケートは以下の6つの部分で構成されています。

- A. 資料
- B. 図書館の設備
- C. 図書館内で行われるサービス
- D. 図書館外で行われるサービス
- E. サービスの運営と高齢者の関わり
- F. 高齢者サービスの展望

A. 資料についてお尋ねします。

- Q 1. 大活字本の館外貸出を行っていますか。
1. 行っている
 2. 館内利用のみ
 3. 購入していない
- Q 2. カセットテープ、CDの館外貸出を行っていますか。
1. 行っている
 2. 館内利用のみ
 3. 購入していない
- Q 3. 美術書や写真集の館外貸出を行っていますか。
1. 行っている
 2. 館内利用のみ
 3. 購入していない
- Q 4. 熟年コーナー、高齢者コーナーなど高齢者向けの資料コーナーを設置していますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q 5. 高齢者を意識して以下の資料を収集していますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 高齢者問題、高齢者福祉、高齢者の生き方などに関する資料
 2. 歴史小説
 3. 趣味に関する資料
 4. その他 ()
 5. 特に意識していない
- Q 6. 地域の高齢者のためのサークル(例えば老人クラブなど)を意識した資料の充実を計っていますか。
1. はい
 2. いいえ

B. 図書館の設備についてお尋ねします。

- Q 7. 拡大読書器、拡大鏡、老眼鏡などを置いていますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 拡大読書器
 2. 拡大鏡
 3. 老眼鏡
 4. その他 ()
 5. 置いていない
- Q 8. 書架の高さを、はしご踏み台を使わなくても本を取ることが出来る高さに設定していますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q 9. 館内の案内板を大きい字にしていますか。
1. はい
 2. いいえ

- Q10. 自動ドア、スロープ、エレベータなどを設置していますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 自動ドア
 2. スロープ
 3. エレベータ
 4. その他 ()
 5. 設置していない

Q11. 館内の照明の改善、ルクス基準のアップを計っていますか。

1. はい
2. いいえ

Q12. 高齢者用読書室、読書コーナーのような高齢者のための特別な読書施設を設置していますか。

1. はい
2. いいえ

C. 図書館内で行われるサービスについてお尋ねします。

- Q13. 高齢者向けの企画を図書館内で行っていますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 読書会
 2. 講演会
 3. 映画上映会

4. 利用者懇談会
5. コンサート
6. 展覧会
7. サークル
8. お話会
9. その他
10. 行っていない

Q14. 来館用のバッグを高齢者に貸与・提供していますか。

1. はい
2. いいえ

Q15. 高齢者向けの利用案内を作成していますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

1. 文字を大きく作成している
2. 難しい語句や横文字を出来るだけ避けて作成している
3. その他 ()
4. 作成していない

Q16. 高齢者向けの目録を作成していますか。

1. はい
- 工夫している点:

2. いいえ

Q17. 集会室、会議室を利用する高齢者に図書館の利用についてPRしていますか。

1. はい
2. いいえ(理由:)
3. その他 ()

Q18. 図書館において高齢者を対象にした利用ガイダンスを開催していますか。

1. 定期的に開催している
2. 依頼があったときに随時開催している
3. その他 ()
4. 開催していない→Q20へお進み下さい。

Q19. 利用ガイダンスの内容について、当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

1. 利用全般について(開館日、開館時間など)
2. 利用登録の方法
3. 貸出、返却の方法
4. リクエストサービスについて(予約サービスも含まれます)
5. 目録カードの利用法
6. OPACの利用法
7. 集会室、会議室の利用について
8. その他 ()

D. 図書館外で行われるサービスについてお尋ねします。

Q20. 高齢者施設への資料の貸出を行っていますか。

1. はい
2. いいえ→Q24へお進み下さい。

Q21. 貸出先の施設について当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

1. 老人ホーム
2. 病院
3. その他 ()

Q22. 貸し出し形態について、当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

1. 団体貸出
2. 個人貸出
3. その他 ()

Q23. 貸し出している資料について、当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

1. 図書
2. 雑誌
3. CD、カセットテープ
4. 写真集、画集
5. その他 ()

Q24. 高齢者施設において貸出以外のサービスを行っていますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

1. お話会
2. 紙芝居
3. 映画上映会
4. その他 ()
5. 行っていない→Q26へお進み下さい。

Q25. 前問Q24のサービスの担当者について、どのような職員がサービスをしていますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。

1. 正職員
2. 嘱託、非常勤職員
3. アルバイト
4. ボランティア

日本の公共図書館における高齢者サービスの現状と展望

5. その他 ()
- Q26. 個人宅への宅配サービスを行っていますか。
1. 高齢者を対象に行っている
 2. 行っているが高齢者を対象にしていない
 3. 宅配サービスを行っていない→Q28へお進み下さい。
 4. その他 ()
- Q27. どのような職員がサービスを行っていますか。
1. 正職員
 2. 嘱託、非常勤職員
 3. アルバイト
 4. ボランティア
 5. その他 ()
- Q28. 自動車文庫（ブックモービル）によるサービスを行っていますか。行っている場合は、一つの停車場につきどのくらいの頻度で巡回していますか。
1. 月4回以上（毎週も含む）
 2. 月2～3回（隔週も含む）
 3. 月1回
 4. 月1回未満（隔月も含む）
 5. 行っていない
 6. その他 ()
- Q29. 館外の施設で高齢者へのPRを行っていますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 老人ホームで行っている
 2. 病院で行っている
 3. 公民館で行っている
 4. 地域の高齢者のサークル（老人クラブなど）で行っている
 5. その他 ()
 6. 行っていない→Q31へお進み下さい。
- Q30. PRの方法について、当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 直接赴く
 2. 案内やパンフレットを配布
 3. 広報を通じて行う
 4. その他 ()
- Q31. 図書館サービスを運営する上で、図書館以外の施設・団体と連携していますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 老人ホームと連携している
 2. 病院と連携している
 3. 公民館と連携している
 4. 地域の高齢者のサークル（老人クラブなど）と連携している
 5. 老人大学・寿大学と連携している
 6. 現在は連携していないが、将来は連携する予定
 7. 現在も将来的にも連携の予定はない
 8. その他 ()
- E. サービスの運営と高齢者の関わりについてお尋ねします。
- Q32. 高齢者向けの企画・プログラムを図書館が行う際、高齢者が参加していますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. アイディア（発案）の段階で参加している
 2. 準備の段階で参加している
 3. 運営の段階で参加している
 4. その他 ()
 5. 参加していない

- Q33. 以下の図書館の業務において高齢者を雇用していますか。当てはまるものすべてに○をお付け下さい。
1. 貸出・返却サービス担当として雇用している
 2. 集会室・会議室の利用の受付担当として雇用している
 3. 宅配サービス担当として雇用している
 4. その他 ()
 5. 雇用していない

F. 高齢者サービスの展望についてお尋ねします。

- Q34. 高齢者サービスの障害となっている要因は何であると思いますか。特に重大であると思われるもの2つに○をお付け下さい。
1. 職員の数が不十分
 2. 予算が不十分
 3. 図書館側の関心の欠如
 4. 高齢者のニーズに関する認識不足
 5. 図書館側のPR不足
 6. 地域社会での協力が不十分
 7. その他 ()
- Q35. 高齢者サービスに対する将来の展望、現在取り組んでいるサービス、問題点、現状などについてご意見をお書き下さい。

お差し支えなければ、お答えいただいた方のご氏名と職名及び連絡先をご記入下さい。

氏名 _____

職名 _____

連絡先 _____

ありがとうございました。